

# 兵庫県養成医かわら版

第2号

2023年1月24日

発行：卒後ユニット

## 【 指導医に聞く 】 公立神崎総合病院

名前：中山一郎

勤務先：公立神崎総合病院

総合診療部長・地域連携室長

経歴：S63年 神戸大学卒業 神戸大学医学部附属病院、  
小野市民病院（現北播磨総合医療センター）、  
姫路循環器病センター（現はりま姫路総合医療センター）、  
神戸大学第1内科（循環器内科）、三菱神戸病院勤務を経て、  
H12年より公立神崎総合病院に着任



専門：循環器病学、一般内科、地域医療

### ◀ 現在の勤務先の紹介 ▶

公立神崎総合病院は兵庫県のほぼ中央にあり、兵庫県内の市区町村で最も人口の少ない神河町が運営する140床の病院です。中播磨北部（神崎郡）から朝来市南部を診療圏とし、診療圏の地域住民人口は大体4～5万人くらいです。産業の中心は、農業や林業でしたが、最近では観光にも力を入れています。因みに、2017年に日本一新しいスキー場（峯山高原リゾート）が当町にできています。近隣20km圏内には他に総合病院がなく、中播磨北部地域で唯一の総合病院として地域住民に対する医療を展開しています。

### ◀ ～地域医療の魅力～ 養成医、地域卒学生へのメッセージ ▶

当院では、内科・総合診療、外科、整形外科、麻酔科、小児科、眼科等20名弱の常勤医師を中心に当院でできる医療はきっちりと行い、できない医療は基幹病院としっかりと連携するよう心がけています。

神戸大学大学院医学研究科 医学教育学分野キャリア形成卒後支援ユニット

[postgrad@med.kobe-u.ac.jp](mailto:postgrad@med.kobe-u.ac.jp)

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597（総合内科医局内）

さらに地域の特徴として、高齢化率が40%近くになっており、高齢者が多いゆえに生じる認知症の対応や、独居老人問題、医療機関へのアクセスの問題など、今後は都市部に到来する超高齢化社会の課題に15年ほど先取りして取り組んでいます。加えて、町立病院の立ち位置より、介護・保健・福祉に係わる種々の施設や組織との連携も密に行っており、患者さんを中心とした地域包括ケアの実践に多職種とともに取り組む事なども当院での地域医療の魅力かと思えます。

また、大きな基幹病院での高度医療や臓器別医療とは違って、病気の治療のみではなく、地域住民の健康をいかに保つか、生活習慣病等の疾病予防、高齢化に伴う生活機能低下に向き合うため、医療のニーズと介護福祉の相互連携をいかにうまく行うか、将来増えると考えられる、心不全患者、嚥下機能低下・誤嚥性肺炎、脳卒中後遺症患者、認知症、フレイルなどを地域で診るといった取り組みも含め、患者さんを中心に生活に向き合い、住み慣れた地域での医療・ケアを実践し、『地域医療の在り方』を日々形づくっています。このような取り組みの継続も地域医療の魅力でしょうか。私自身、気がつけば20年以上も地域医療の中に浸かっていました。兵庫県の養成医の先生方も含め、次世代の若い先生方がこの医療過疎な地域医療の現場に興味や情熱をもって来てくれれば望外の喜びです。



神戸大学大学院医学研究科 医学教育学分野キャリア形成卒後支援ユニット

[postgrad@med.kobe-u.ac.jp](mailto:postgrad@med.kobe-u.ac.jp)

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597(総合内科医局内)